

様式第6号その1 (第5条関係)

2023年4月13日

(あて先) 三鷹市議会議長

会派名 日本共産党三鷹市議会議員団  
代表者氏名 大城美幸

政務活動費実績報告書

令和4年4月1日付け4三議第9号で交付決定を受けた令和4年度分の政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| 1 交付決定を受けた額                | 1,296,000 円 |
| 2 調査研究の成果及び収支決算書<br>別紙のとおり |             |



調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収 入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	1,296,000	27,000円×4人×12ヶ月
2 その他の収入		
計	1,296,000	

(2) 支 出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	42,972	上級救命講習（再）講習テキスト代、「議員の学校」参加費など
2 調査旅費	276,800	会派視察に係る旅費、宿泊費など
3 資料作成費	0	
4 資料購入費	7,202	定期刊行物購入費
5 広報費	677,875	三鷹市議団ニュース作成料
6 広聴費	8,100	市政報告会会場使用料
7 事務費	74,776	コピー機使用料、コピー用紙代など
計	1,087,725	

差引額（収入－支出） 208,275円（残額分208,275円は市へ返還）

## 政務活動費 調査研究の成果

日本共産党三鷹市議会議員団は、政務活動費を活用して、2022年度、市民アンケートの集約、市政に対する市民要望の把握に努め、中でも重要事項について、条例提案を行う事として、調査・研究を行いました。主な調査研究について報告します。

- (1) 635人の方から回答が寄せられたアンケートの集約を行い、結果の報告を全戸配布で市民に情報提供しました。
- (2) 10月9日に市政報告会を開催し、まちづくりや市の財政など市政の問題について4人の議員団で報告し、その後市民からのご意見やご要望を聴取しました。
- (3) 駅前再開発事業については、11月12日、実際の再開発区域を市民とともに歩き、事業規模を体感するとともに、どのような駅前再開発が望まれるのか、学習懇談会を行いました。
- (4) アンケートで要望が2番目に多かった学校給食無償化については、全国の取り組みなどを調査し、議会質問に活かしました。
- (5) ヤングケアラー支援について、市内の事例を把握、議会質問で取り上げ、議会質問を行ったことで、市内22校の小学校5年生から中学3年生の児童生徒の中に511人のヤングケアラーが存在することが明らかとなりました。市教育委員会が行ったアンケートに「宿題をする時間がない」「学校を休んでしまうこともある」「友達と遊びたい」といった切実な声が寄せられており、その声を無視してはいけなないと考え、全国の事例を調査、研究を行い、ヤングケアラー等支援条例の提案を行いました。
- (6) 会派視察では、三鷹市が天文台まちづくりにおいて、浸水時に避難所とならない羽沢小の移転ありきにすすめているため、浸水地域であっても、学校を移転せず建て替えを行った嬉野市塩田中学校の高床式校舎の視察と新幹線の竣工を機に駅前整備をすすめている大村市新大村駅前整備について視察を行いました。視察で学んだことを議会質問で取り上げました。
- (7) 議会のたびに市議団ニュースを発行し、議会報告を市民に情報提供してまいりました。
- (8) 地方自治研究全国集会インハイブリッドに参加し、「子どもの権利・学ぶ権利」というテーマで和光大学の山本由美教授のお話を聞きました。10月に開催された議員の学校では、主権者教育と子ども議会について学び、議会質問に活かしました。